

煎茶講演 「おもてなし」の心とは 佃一可

平成18年10月15日
ドイチェフェストinナルト

人をもてなす

2006年(平成18年)9月12日 火曜日 3版 14



イデンさん

【ニューヨーカー】野「た、ビター、イデン」
米商時多子の元清治部(のほろ)年輩になったと聞かされた。この日、伊藤は分たに、二、三、四の部族、現地に駆けつけ、セクター、基地の消防署、機嫌をなす。人の消亡の念を聞かされた。この日、伊藤は分たに、二、三、四の部族、現地に駆けつけ、セクター、基地の消防署、機嫌をなす。

【ニューヨーカー】野「た、ビター、イデン」
米商時多子の元清治部(のほろ)年輩になったと聞かされた。この日、伊藤は分たに、二、三、四の部族、現地に駆けつけ、セクター、基地の消防署、機嫌をなす。

慰霊碑に花「最後の仕事」

9月11から15年 消防士、仲間悼む

「ニューヨーカー」野「た、ビター、イデン」
米商時多子の元清治部(のほろ)年輩になったと聞かされた。この日、伊藤は分たに、二、三、四の部族、現地に駆けつけ、セクター、基地の消防署、機嫌をなす。

魚住参院議員、口

NPOを設立し、団体の

【ニューヨーカー】野「た、ビター、イデン」
米商時多子の元清治部(のほろ)年輩になったと聞かされた。この日、伊藤は分たに、二、三、四の部族、現地に駆けつけ、セクター、基地の消防署、機嫌をなす。

幕末の日米交渉の証人



米博物館に渡る

【ニューヨーカー】野「た、ビター、イデン」
米商時多子の元清治部(のほろ)年輩になったと聞かされた。この日、伊藤は分たに、二、三、四の部族、現地に駆けつけ、セクター、基地の消防署、機嫌をなす。



タウゼント・ハリスの肖像
(王様、週刊朝日百科「日本の歴史」)

茶道具を贈った

【ニューヨーカー】野「た、ビター、イデン」
米商時多子の元清治部(のほろ)年輩になったと聞かされた。この日、伊藤は分たに、二、三、四の部族、現地に駆けつけ、セクター、基地の消防署、機嫌をなす。

815年

- 永忠が嵯峨天皇に茶を献じた年
(翌年茶を栽培する勅令)
- 靈山寺開山の年
- 空海にとって「竺和(インドと日本)山」
「靈山」
とは何を意味するのか
なぜ2番目が極楽なのか
ダビンチコード →
88ヶ所の空海コード(マオコード)

煎茶の始まり

永忠 声明の伝播
茶を日本にもたらず

『日本後紀』弘仁六年(815)年4月22日
嵯峨天皇の滋賀唐崎(韓崎)行幸

大僧都永忠、手自ら茶を煎じて奉御す。

茶を栽培する勅令

空海を恵果法師に導いた人々

- 空海法系

不空三蔵 恵果阿奢梨 空海

三蔵称号系譜

玄奘三蔵 不空三蔵 般若三蔵 靈仙三蔵

醴泉寺住職
アフガニスタン生まれ

正式留学僧

行賀

永忠

靈仙(山)

(752入唐783帰) (773入805帰) (804入820頃殺害)

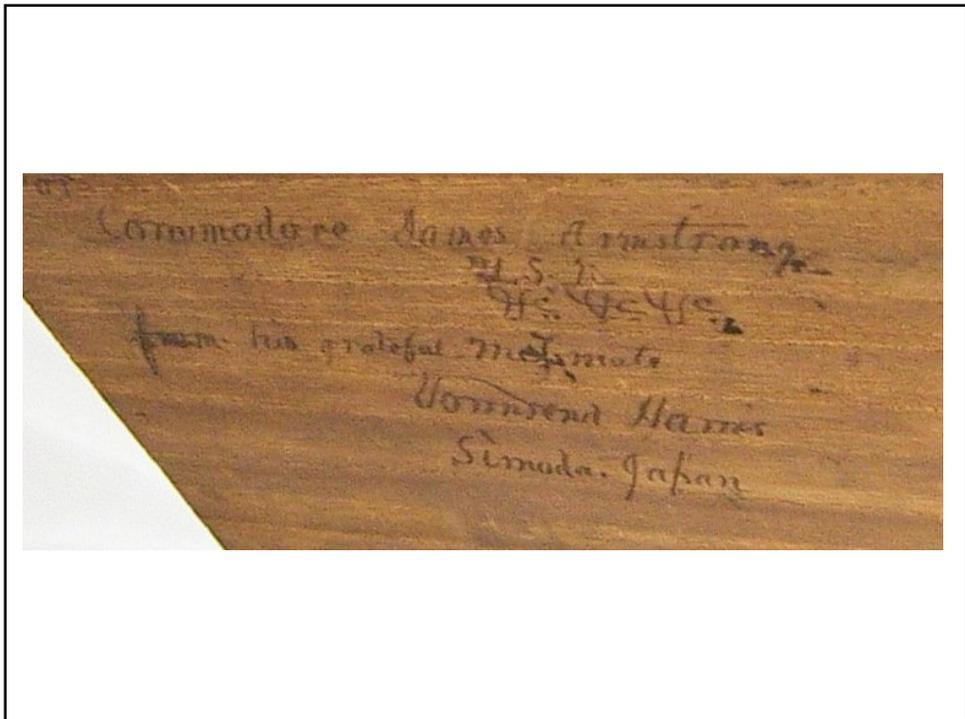
- 空海にとって「竺和(インドと日本)山」

竺(インド) 般若三蔵と空海

空海にとって「靈山」

靈山

靈仙三蔵



なぜこれを探そうとしたのか

- 「TEA CEREMONY」とはなにか
「いけばな」 「flower arrangement」
「IKEBANA」
岡倉天心「茶の本」
「茶」の点前 → 「即興劇」
その場その場に応じた臨機
の所作、
それを主客で楽しむ
のが茶の醍醐味

「tea ceremony」という言葉の初見

ハリスの日記及びニュースケンの日記
の中に見いだした。

そこには茶の点前がなぜ
ceremonyか明確に示されていた

通訳の森山多吉郎の説明

「身分のある人物が同様に身分の高い客を迎えて深い敬意を示そうと思うときは、手ずからお茶をいれてもてなすのが日本の習慣です。今、第一奉行の信渡守は親愛なるハリス総領事閣下に敬意を表すために、いまそのおもてなしを致します。」

あらゆる交渉事においてそれが成就するか否か
信頼関係が成立するか否か

価値観が違うもの同士
自分が相手から大切にされているか否かで左右

「tea ceremony」

井上は、

「オーナーが茶を淹れ、客がその茶を喫する」と
いうこと貴人が貴人をもてなす貴人同士の儀式
絶妙なロジック

当事者の中で相互を敬愛し理解をする場を創っている。

発見の意義

- 幕末の「TEA CEREMONY」は煎茶だった。
- 煎茶は高級官僚の接待にも使われていた。
文人という狭い範囲のものではない
- 煎茶点前は江戸に普及していた。
旗本たちの盛んな茶栽培